

活動終了報告書（要約）

採択年度	2019 年度
コード番号	19-A-002

団 体 名	特定非営利活動法人ホープフル・タッチ	申請額
		980,000 円
		助成額(受領額)
		980,000 円
事 業 名	戦争により障がいをもった子ども達の特別支援コミュニティセンターの運営（シリア）	事業地(国名)
		シリア

組 織 及 び 事 業 概 要

■ 組織概要〈創立年、趣旨、主な活動等〉 * 300 字以内

【創立年】2016 年

【趣旨】シリア難民の子どもに教育を届ける活動から開始。人為・自然災害や飢餓貧困、劣悪な環境により「発達する権利」や「参加する権利」を剥奪された子どもの権利を保護・実現し、子どもの平和と発達を守り促進する取り組みに寄与するため創設。

【主な活動】トルコ、シリア、スーダン、カンボジアにて4分野で活動を実施。①教育（教育へのアクセス創出、学習環境の整備）、②子どもの保護（健康な心身発達の促進、心理社会的サポートの実施）、③保健・栄養（緊急人道的危機や慢性的貧困下にある子どもの健康状態の改善）、④子どもの参加（コミュニティのエンパワメント、子どもの自主性の促進、国際交流）。

■ 今回実施した活動の概要 * 400 字以内

「戦争により非人道的被害を受けた、シリア人の子ども達の子どもの権利を保護する」ことを発展的目的、「戦争により心身へ被害を受けた子どもが、健康に発達できる機会を生み出す特別支援コミュニティセンターを1年間運営する」ことを直接的目的とし、シリア・ラッカ県にて障がいをもつ子ども 50 名を対象に活動を実施した。主に①家庭訪問による個別ヒアリング・個別相談、②特別支援コミュニティセンター及び家庭での学習・心理社会的支援プログラムの実施、③衛生用品（マスク・ゴム手袋）の配布を実施した。学習・心理社会的支援プログラムについてはコミュニティセンター内で実施する計画だったが、COVID-19 感染対策のためセンター内での活動を制限し、教師やスタッフによる家庭訪問を中心に実施した。また感染対策の一環として、衛生用品の配布と感染予防情報の普及を並行して行った。

■ 成果 * 400 字以内

当事業を通じ、以下のような成果を得た。①対象地域における人道支援機関・活動が不足しているなか、戦争により心身の健康へ被害を受けたシリア人の子ども達の個別的ニーズを把握した、②特に教育を受ける機会を得られにくい子ども達が、最低限の学習活動に継続的に参加できた、③戦争のほか COVID-19 感染拡大により行動が制限されるなかで、子ども達の心理的ストレスの軽減に貢献した、④対象地域の人々の感染症予防に寄与した。COVID-19 による活動への制限を受けたが家庭訪問による個別的支援を強化したため、各子どもの発達に合わせた学習サポートを提供できた。活動計画の一つとしていたリファレンス活動に関しては、リファレンス先の支援機関の不足や閉鎖により実現できなかったが、子ども達の健康な発達を支える活動を継続的に実施でき、発展的目的達成へ部分的に寄与した。

* 記載者へのお願い: 本概での記述は本紙一枚に収めるようにして下さい(全体で 1100 字以内程)。